

はぐくむ委員会 自主交流会報告

資料1

令和3年8月17日 火曜日

出席者

乾、前田、平家、森田、井濶、玉井、佐藤、是枝、上田、岸田、戸島、中谷、東、平田、薮、事務局（前川、上原）（敬称略）

○ザ・太郎さんズの『はぐくむ条例のうた』生歌披露をしていただいた。

1. 自己紹介

2. 提言書について

東さんから提言書の全体的なことをお話ししていただき、その後各班より詳細を発表した。各班の発表後、質問や意見を挙手で受ける。

A班→東さん B班→戸島 C班→薮さん

※挙手で質問や意見を言っていただいた後、1期からいるメンバーが答えた。（誰が答えると決めずに、話し始めた人から）

・提言書を見ただけでは、何が何なのか良く分からない。実際にしているものを詳しく出すとか、橋本市は災害が今までほとんどなかった。それを元に動いてこうやるとか、良いということを出していつてはどうか。

→それをするにしてもルール作りがとても重要で、そこがきちんとしていないと何もできない。今そのルール作りをしていきたい。

・はぐくむ条例を読んだだけでは、「さあ、協働しよう」という気持ちになれるかということ、なれない。そもそも協働ということが分からないのではなか。言葉自体は分かりやすく書かれているが、もっと協働しやすいような内容に変えた方が良いのでは？

→今回は条例に周知するため、区長会でも作ったチラシを回覧板に入れることについて了承は得ている。条例の内容を知ってもらうことは、大変大事なことである。ただ、コロナがあるせいで、なかなか前に進んでいかない。市職員も区へ入ってきていない。それに、前から委員会にいる私たちがさえも、全部が全部、理解しきっているわけではない。

私たちがそうならば、新メンバーはなおさら分からないと思う。他の一般の市民はもっとそうだと思う。ここにいるメンバーは意識が高い人たちが集まっているから、前向きに考えてくれるはず。

〈補足〉秋頃から条例を周知するため、市職員も区へ入っていく予定。

・先日、新聞に同級生二人が移動販売車で商売をしている話が載っていた。一人は移動販売車で品物を売って、一人は車自体を製造しているらしい。そんなことをもっと取り上げていつて、発信していつてはどうか。そういう頑張っている人たちを紹介して支えていけるようにしていかないといけないのでは？

→やはり、ルール作りを徹底して作っていかないといけない。それに、協働やはぐくむ条例をアピールすることも大切だと思う。アピールの仕方なども含めて、委員会で取り組んでいけたらと思う。